報道関係各位

2018年10月吉日

新刊・著者取材のご案内

「経営の神様」稲盛和夫氏の考えをすべて実行し、奇跡のJAL再生を遂げた
“側近中の側近” 大田氏がはじめて語る裏側

「稲盛和夫から最も信頼される男」
日本航空元会長補佐・大田嘉仁（おおた よしひと）氏

初の著書『JALの奇跡』取材・著者インタビュー受付中

※献本・個別取材ご希望の場合は次ページ連絡先にお気軽にお申し込みください。

■経営の神様・稲盛和夫氏が最も信頼する男

株式会社致知出版社（本社：東京都渋谷区/代表：藤尾秀昭）は、日本航空元会長補佐・**大田嘉仁氏**の初の著書**『JALの奇跡』**を上梓しました。発刊にあたり、「取材・著者インタビュー」を受け付けております。

2010年、戦後最大2兆3000億円の負債を抱えて経営破綻した日本航空（JAL）。誰もがこぞって“不可能”と断じた同社の再建に際し、会長に就任した稲盛和夫氏は、たった二人の部下を京セラから連れて行きました。

そのうちの一人が、本書の著者・大田嘉仁氏です。

本書は、長年、稲盛氏の秘書を務め、「稲盛和夫から最も信頼される男」「側近中の側近」と称される大田氏が、JAL再生の軌跡を綿密に描いたノンフィクションかつ貴重なビジネス戦記であり、稲盛氏も**「経営や人生において何が大切なのかがすべて書かれている」**と推薦の言葉を寄せておられます。

■どん底を救った、稲盛経営哲学による“意識改革”

「私の副官で、フィロソフィを一番わかっていて、社員の気持ちもわかる男だ。だから意識改革を任せる」と稲盛氏から命をうけた大田氏。今でもJAL幹部から「あのリーダー教育がなければ今のJALはない」と言われるリーダー教育プログラムを皮切りに、主に意識改革大臣として、わずか5名のメンバーで3万2000人もの意識改革に挑みました。

管理職から一般社員、契約企業や派遣企業の外部スタッフに至るまでのドラスティックな意識改革、そして「JALフィロソフィ」策定やアメーバ経営、会計7原則など稲盛経営哲学

の徹底的な実践により、約２年８カ月の短期間で高収益企業としての再上場を果たしました。

JALの再生については、すでにニュースや各種書籍も刊行されていますが、本書は、
「当事者の一人である私が、世界の産業史に残るような出来事であるJAL再建の過程や意義を正しく伝えることこそ自分の役割であり、それが社会の財産になれば」
という大田氏の熱い想いで綴られた、類のない一冊となっています。

大田氏だからこそ語りうる貴重なエピソードや、社長に信頼されるナンバー２としてのあり方、具体的な仕事術のスキルなどを、多くの企業や多くの方に役立てていただけるよう、ぜひ書評や著者インタビューをご検討いただけましたら幸いです。

大田嘉仁氏『JALの奇跡』著者インタビュー・テーマ例

- **当事者だからここまで語れる、JAL再建の真実**
- **社長に信頼されるNo.２になるための仕事術**
- **ブランドの創り方、磨き方、高め方**
- **常勝経営６０年の極意と、稲盛哲学の真髄**
- **「フィロソフィ」はこうして創る　　ほか**

■著者プロフィール：大田嘉仁（おおた・よしひと）

昭和29年鹿児島県生まれ。立命館大学卒業後、京セラ入社。ジョージワシントン大学ビジネススクール修了（ＭＢＡ取得）。秘書室長、取締役執行役員常務などを経て、H22年日本航空（JAL）会長補佐・専務執行役員に就任（25年3月退任）。

27年京セラコミュニケーションシステム代表取締役会長、29年に顧問に就任（30年退任）。現在は稲盛財団監事、立命館大学評議員、日本産業推進機構特別顧問、鴻池運輸社外取締役ほか、新日本科学、ＭＴＧ等、数社の顧問を務める。

平成3年より京セラ創業者・稲盛和夫氏の秘書を務め、経営破綻に陥った日本航空再建時は、意識改革の他、再上場や調達等、多岐にわたり稲盛氏のサポート役を務め「稲盛和夫から最も信頼される男」「稲盛和夫の側近中の側近」とマスコミにも取り上げられた。

つきましては、大変お忙しいとは存じますが、この件につきましてご取材頂き、報道のお力で多くの方にお知らせいただければ幸いです。

お問合せ　株式会社致知出版社　小森俊司
東京都渋谷区神宮前4－24－9
TEL：03-3796-2114　携帯：090-4296-4995　Email: komori@chichi.co.jp
公式サイト：https://www.chichi.co.jp/

致知出版社は「人間学」をテーマに独自の編集方針で、各界の人物の体験談、古典の知恵等をとおして「人間力を高めるための学び」を紹介する創刊40年の月刊誌『致知』・書籍を発刊しています。

「稲盛和夫氏から最も信頼される男」の
待望の初の著書、いよいよ発売（10/5）

ＪＡＬの奇跡

稲盛和夫の善き思いがもたらしたもの

日本航空元会長補佐・大田嘉仁（著） 定価1,600円+税

戦後最大2兆3000億円余の負債を抱えて倒産したJAL。マスコミ各社がこぞって“不可能"と断じた同社の再建に際し、会長に就任した稲盛和夫氏はたった二人の部下を京セラから連れて行った。そのうちの一人が本書の著者・大田嘉仁氏。長年、稲盛氏の秘書を務め、「稲盛和夫から最も信頼される男」「稲盛和夫の側近中の側近」と称された人物である。

本書は2010年に経営破綻に陥ったJALが、いかにして再生の道筋を辿り、奇跡の復活を果たすかまでの一部始終を綿密に描いた渾身のノンフィクションである。

稲盛氏が会長就任を引き受けるまでの経緯、着任当初、JAL社内に漂っていた冷ややかな空気、社内に充満する根深い相互不信……。そんな中、著者は主に意識改革担当として、カリキュラムや教材の作成、フィロソフィの策定等に関わり、わずか5人のメンバーで、3万2000人もの意識改革に挑んでいく。

痛み、深く傷ついていた社員たちの心は、稲盛氏の熱い思いと純粋な善意に触れ、やがて健全な心へと甦っていくとともに、JALは再生のプロセスを辿っていったのである。

稲盛経営哲学の集大成とも言えるJAL奇跡の再生。なぜ、不可能といわれたJAL再生は、わずか1年で可能になったのか？　稲盛氏を最もよく知る著者だからこそ書き得た、貴重なビジネス戦記。

大田嘉仁（おおた・よしひと）
昭和29年鹿児島県生まれ。53年立命館大学卒業後、京セラ入社。平成2年米国ジョージ・ワシントン大学ビジネススクール修了(MBA取得)。秘書室長、取締役執行役員常務などを経て、22年12月日本航空(JAL)会長補佐・専務執行役員に就任(25年3月退任)。27年12月京セラコミュニケーションシステム代表取締役会長に就任、29年4月顧問(30年3月退任)。現在は、稲盛財団監事、立命館大学評議員、日本産業推進機構特別顧問、鴻池運輸社外取締役ほか、新日本科学、MTG等、数社の顧問を務める。平成3年より京セラ創業者・稲盛和夫氏の秘書を務め、経営破綻に陥った日本航空再建時は、意識改革の他、再上場や調達等、多岐にわたり稲盛氏のサポート役を務め「稲盛和夫から最も信頼される男」「稲盛和夫の側近中の側近」とマスコミにも取り上げられた。